



Chapter 1

導入・初期設定

UnitBaseの導入・バージョンアップを行う上での注意点、個人設定・管理画面の各種設定項目の内容やポイントなど、導入から初期構築段階のシステム設定を取り上げた資料です。

Chapter 1 は主にUnitBaseのシステム全体を運用・管理される方を対象とした内容です。UnitBaseに管理者ユーザーでログインできること、UnitBaseがインストールされているサーバーを操作できることが前提となります。

Chapter 1：導入・初期設定

- ◆ 導入・バージョンアップ
- ◆ ヘルプ・マニュアルを確認する
- ◆ 使い方ガイドを確認する
- ◆ 初期設定
 - ・ UnitBaseの各種設定画面
 - ・ ユーザー・グループの管理
 - ・ ユーザー権限の設定
 - ・ ログインの設定
 - ・ パスワードポリシーの設定
 - ・ データベースメンテナンスの設定
 - ・ 手動バックアップ／リストアの手順
 - ・ メール送信設定
 - ・ メール受信設定
 - ・ アクセスログの記録
- ◆ メンテナンスモード
- ◆ 環境のチューニング
- ◆ その他さまざまな設定

株式会社ジャストシステム

導入・バージョンアップ

UnitBaseの導入・バージョンアップ

□ 新規インストール

インストーラーを実行してウィザードに従って進めていくだけで、簡単に導入できます。



新規インストール時のみ設定可能な項目

- ✓ プログラムのインストール先フォルダ
- ✓ データ保存先フォルダ（※後で移動するには手作業での設定変更などが必要）
- ✓ サンプルデータベースをインストールするかどうか

□ バージョンアップ

既存環境に上書きインストールでバージョンアップできます。
登録されているレコードやユーザー、各種設定はすべて引き継がれます。



- ✓ 新バージョンのリリース時には弊社からメディアをお送りします
- ✓ バージョンアップ前に必ずバックアップを取っておきます
- ✓ バージョンアップ中はUnitBaseに接続できなくなるため、事前に利用者に日時を周知しておきます

□ アップデートモジュール

不具合修正や小規模な機能追加を含むパッチを不定期でご提供します。
（導入手順はアップデートモジュールに付属の手順書をご確認ください）
登録されているレコードやユーザー、各種設定はすべて引き継がれます。



- ✓ アップデートモジュールは弊社サポートサイトでご提供します
- ✓ アップデート前に必ずバックアップを取っておきます
- ✓ アップデート中はUnitBaseに接続できなくなるため、事前に利用者に日時を周知しておきます

ヘルプ・マニュアルを確認する

UnitBaseの設定や操作に困った時は

UnitBaseの設定や操作で分からない点や詳細を知りたい点が生じた場合には、UnitBase画面右上のユーザー名をクリックして表示されるメニューから各種のヘルプやPDFマニュアルで調べることができます。

また、ヘルプ・マニュアルの内容をまとめて検索できるサイトも用意しており、同じく画面右上のメニューから検索サイトにジャンプすることができます。調べたい操作の内容や、機能名・設定項目名などを入力して検索することで、該当するヘルプ・マニュアルの説明箇所を簡単に調べることができます。

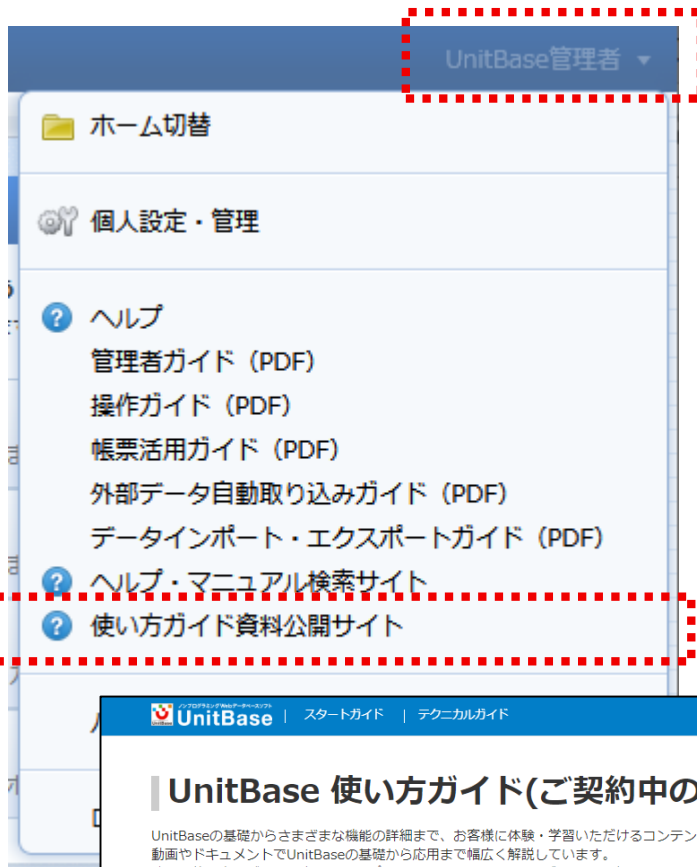
The screenshot shows the UnitBase user interface. At the top right, the user name 'UnitBase管理者' is displayed. A red dashed box highlights this area, with a callout box stating '画面右上のユーザー名をクリック' (Click the user name in the top right corner). Below the user name, a menu is visible. A red dashed box highlights the 'ヘルプ' (Help) section, which includes links to '管理者ガイド (PDF)', '操作ガイド (PDF)', '帳票活用ガイド (PDF)', '外部データ自動取り込みガイド (PDF)', and 'データインポート・エクスポートガイド (PDF)'. A callout box points to this menu, stating '各種ヘルプ・PDFマニュアルへのリンク' (Link to various help and PDF manuals). Another red dashed box highlights the 'ヘルプ・マニュアル検索サイト' (Help and manual search site) link. A callout box points to this link, stating 'ヘルプ・マニュアルをまとめて検索できるサイトへのリンク' (Link to a site where help and manuals can be searched together). A blue arrow points from the 'ヘルプ・マニュアル検索サイト' link to a search results page. The search results page shows a search for 'ユーザー 追加' (Add user) with approximately 129 results. A callout box points to the search results, stating 'ヘルプ・マニュアル検索サイトが開く' (Help and manual search site opens).

使い方ガイドを確認する

UnitBaseの設定や操作に困った時は

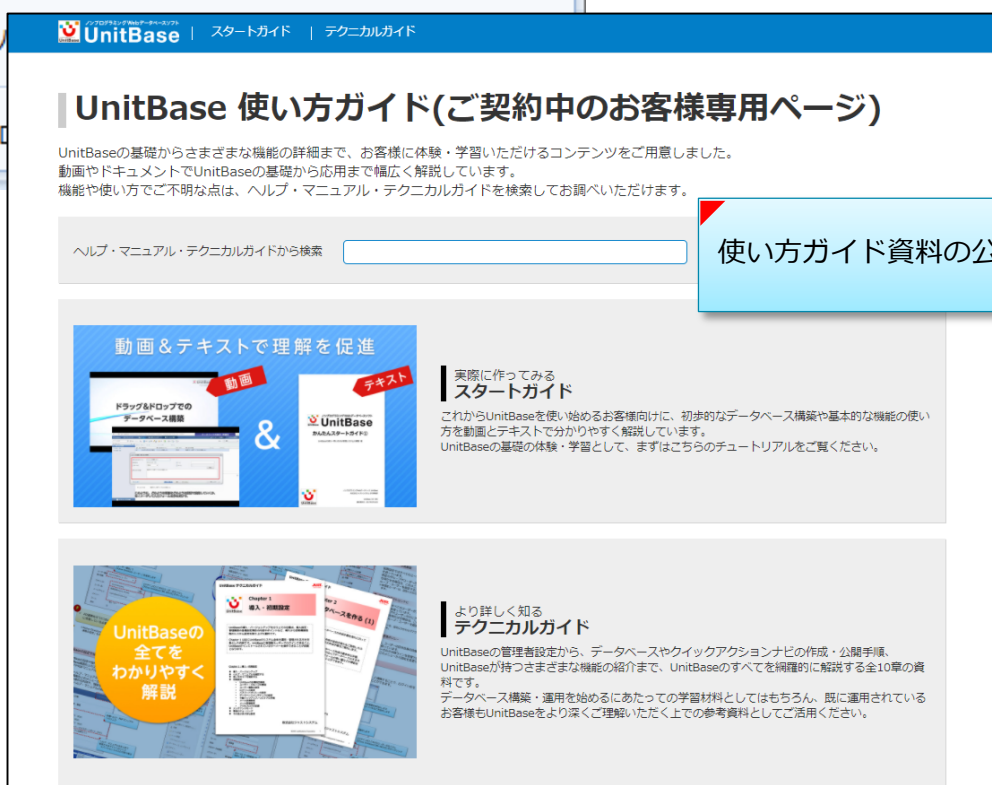
画面右上のメニューからは、UnitBaseの基礎からさまざまな機能の詳細まで、体験・学習いただけるコンテンツへのリンクもご用意しています。

- ・ヘルプ・マニュアル・テクニカルガイド検索
- ・動画とテキストでUnitBaseの基本的な使い方を説明した「スタートガイド」
- ・今ご覧いただいているこの資料「テクニカルガイド」



画面右上のユーザー名をクリック

資料サイトへのリンク



使い方ガイド資料の公開サイトが開く

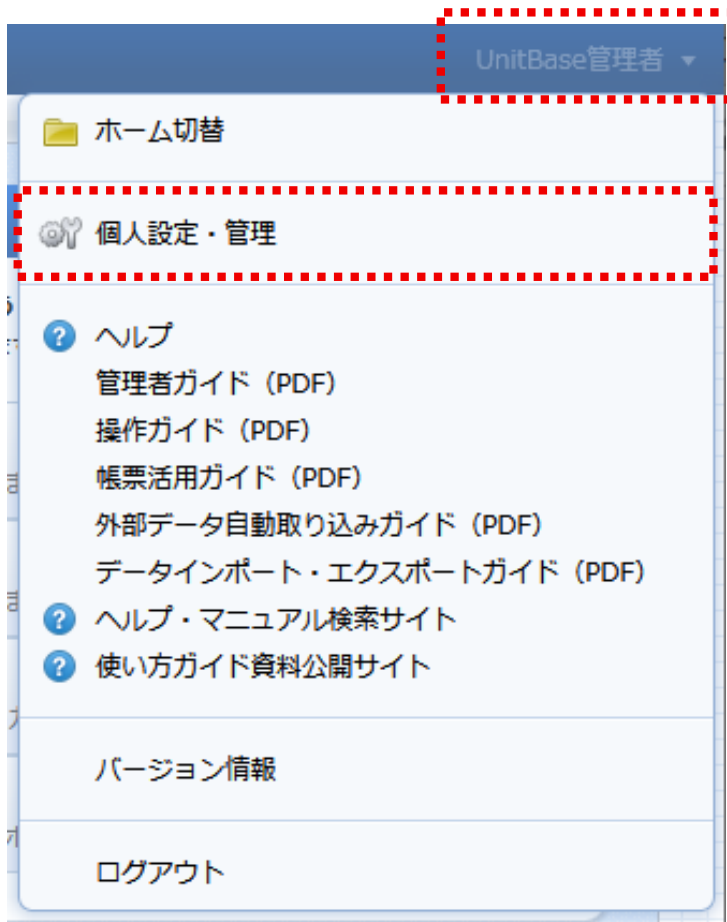
初期設定

UnitBaseの各種設定画面

□ 「個人設定・管理」画面にアクセスする

UnitBaseのさまざまな基本設定は「個人設定・管理」画面に集約されています。インストール後は、UnitBaseにあらかじめ準備されている「administrator」ユーザーでこの画面にアクセスし、設定項目の確認や初期設定などを行います。また、運用開始後も必要に応じてアクセスし設定変更などを行います。

「個人設定・管理」画面には、UnitBase画面右上のユーザー名をクリックして表示されるメニューからアクセスできます。



画面右上のユーザー名をクリック

[個人設定・管理] を選択

初期設定

ユーザー・グループの管理

管理者ユーザーの登録

UnitBaseを使用するユーザーの管理やシステム保守を行う担当者を置きます。UnitBaseに最初から登録されている管理者(administrator)以外に、複数人でシステム管理を分担することができます。

The screenshot displays the UnitBase management interface. On the left is a sidebar menu with options like '個人設定' (Personal Settings), '決裁代理' (Approval Proxy), and 'ユーザー' (Users). The 'ユーザー' option is highlighted with a red dashed box. A blue callout box points to it with the text: '個人設定・管理画面の[ユーザー]を開く' (Open [Users] in the personal settings/management screen).

The main area shows the 'ユーザー' (Users) management screen. At the top, there's a '+ ユーザーの追加' (Add User) button, also highlighted with a red dashed box. Below it, a modal dialog titled 'ユーザーの追加' (Add User) is open. Inside the dialog, the 'ユーザー種別' (User Type) is set to 'ローカルユーザー' (Local User). The '個人情報' (Personal Information) section contains fields for 'ログインID' (Login ID) with the value 'tanaka', 'ユーザー名' (Username) with '田中宏美' (Tanaka Hiroshi), and 'メールアドレス' (Email Address) with 'tanaka@example.com'. The 'ロール' (Role) dropdown menu is set to '管理者' (Administrator), highlighted with a red dashed box. A blue callout box points to it with the text: '[ロール] で [管理者] を指定' (Specify [Administrator] in [Role]). Other fields include 'コメント' (Comment), '有効' (Active) checkbox, and 'パスワードの設定' (Password Settings) with fields for 'パスワード' (Password) and 'パスワードの確認' (Confirm Password). At the bottom of the dialog are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons. A blue callout box at the top right of the dialog says: '[ログインID] などを入力' (Enter [Login ID] etc.).



- ✓ 管理者の権限を持つユーザーはすべてのデータ・設定にアクセスでき、変更・削除などを行うことが可能です

初期設定

ユーザー・グループの管理

□ 一般ユーザーの登録

UnitBaseを使用するユーザーを登録します。

個人設定・管理画面から1ユーザーずつ登録する方法と、CSVファイルから一括で登録する方法があります。CSV取り込みはコマンドラインツールでも可能です。

個人設定・管理画面からの登録

CSVファイルからの登録

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	+	0	ishikawa		石川美佐	F			password	
2	+	0	nakazawa		中沢育二	F			password	
3	+	0	hayasaka		早坂洋介	F			password	
4	+	0	yoshikawa		吉川幸子	F			password	
5										
6										
7										

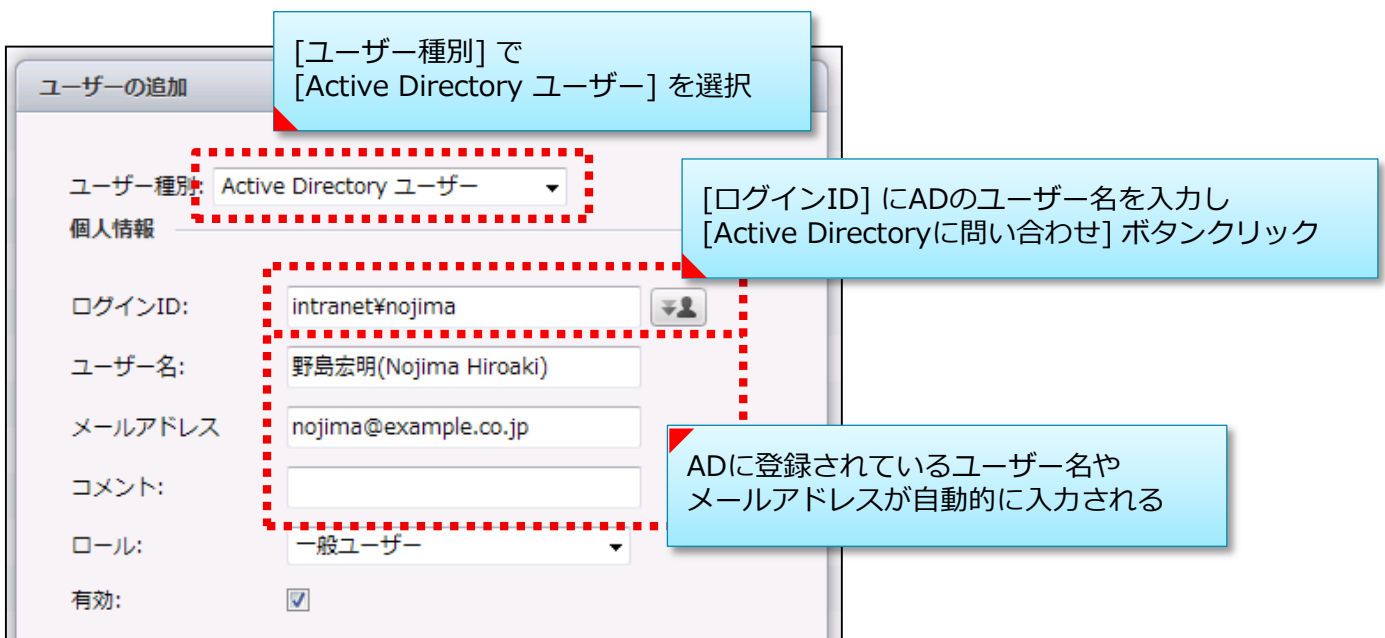
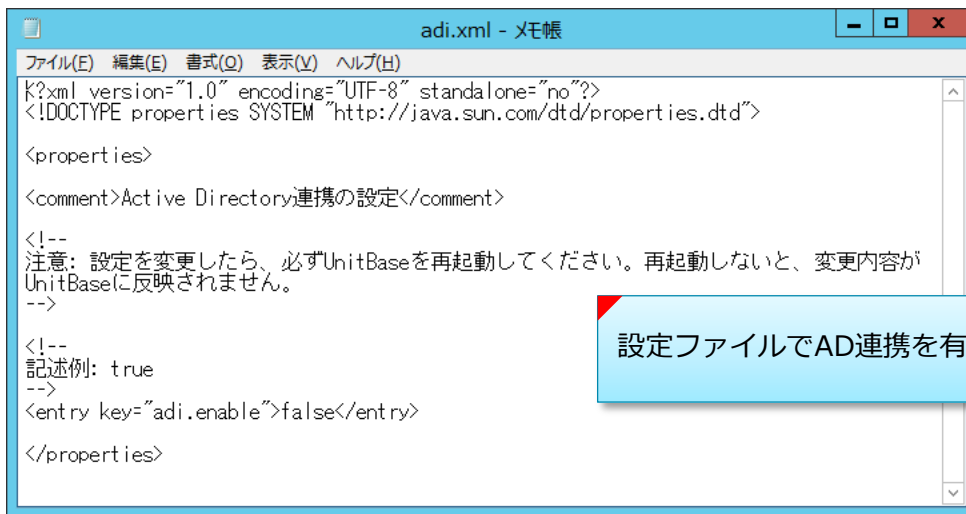
※ユーザーのCSV取り込みで用意するファイルの書式など、詳細はマニュアル「管理者ガイド」>「6.1.2 ユーザーをまとめて追加」を参照

初期設定

ユーザー・グループの管理

Active Directory連携

社内ドメインのActive Directory（以下AD）と連携することで、ログインIDを元にして、ユーザー情報をADから取得することができます。



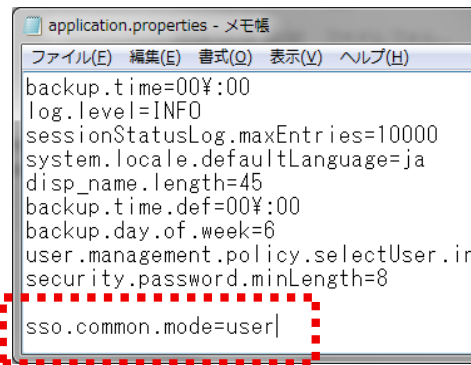
- ✓ AD連携を行うにはUnitBaseサーバーがADドメインに参加している必要があります
- ✓ AD連携の前提条件や詳細はマニュアル「管理者ガイド」の「1.5. 動作環境」「4.5. Active Directory 連携の設定」を参照してください

初期設定

ユーザー・グループの管理

□ 別システムとの連携（簡易シングルサインオン認証）

社内のポータルサイトなどから認証情報つきでUnitBaseにリンクし、簡易的にシングルサインオン認証を行うことができます。
 ログインIDのみでのSSO、ログインIDとパスワードのセットでのSSOを選択でき、POSTまたはGETパラメータでUnitBaseに認証情報を渡します。
 ログインIDのみで簡易シングルサインオン認証する設定にした場合は、ユーザー種別として [外部ユーザー] が選択できるようになります。



application.properties - メモ帳

```

backup.time=00¥:00
log.level=INFO
sessionStatusLog.maxEntries=10000
system.locale.defaultLanguage=ja
disp_name.length=45
backup.time.def=00¥:00
backup.day.of.week=6
user.management.policy.selectUser.in
security.password.minLength=8
sso.common.mode=user

```

設定ファイル（application.properties）で簡易シングルサインオン認証を有効化

- ・ ログインIDのみでSSOする場合
sso.common.mode=user
- ・ ログインIDとパスワードでSSOする場合
sso.common.mode=password



ユーザーの追加

ユーザー種別: 外部ユーザー

個人情報

ログインID: nojima

ユーザー名: 野島宏明

メールアドレス: nojima@example.co.jp

コメント:

ロール: 一般ユーザー

有効: ☒

[ユーザー種別] で [外部ユーザー] を選択
※ログインIDのみでSSOする設定にした場合

ローカルユーザーと同様に、ログインID、ユーザー名、メールアドレス、ロールを選択



- ✓ 簡易シングルサインオンとAD連携を同時に利用することはできません
- ✓ Administratorユーザーはシングルサインオンすることはできません

※簡易シングルサインオン認証の詳細はマニュアル「管理者ガイド」>「8.27. 簡易シングルサインオンの設定」を参照

初期設定

ユーザー・グループの管理

□ グループの登録

作成したユーザーを「グループ」の単位でまとめることができます。グループ登録は必須ではありませんが、フォルダーやデータベースなどのアクセス権を部署やプロジェクトなどの単位でまとめて設定でき利便性が向上します。グループ作成は、画面およびCSVファイルの一括取り込みにて行えます。CSV取り込みはコマンドラインツールでも可能です。

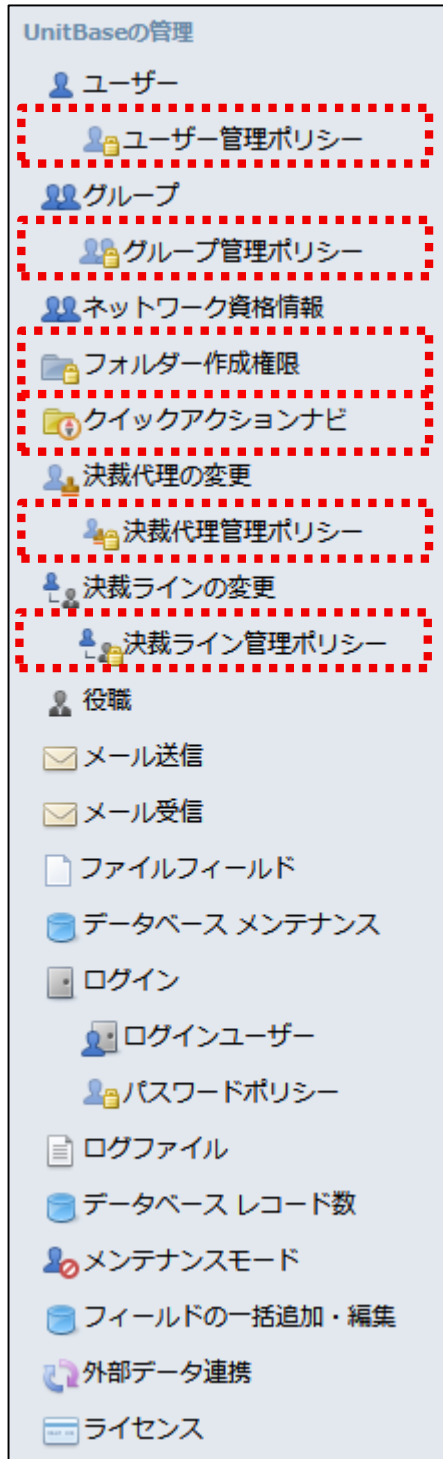


- ✓ Active Directory連携を行っている環境でも、Active Directoryからグループの情報を取り込むことはできません

※グループのCSV取り込みで用意するファイルの書式など、詳細はマニュアル「管理者ガイド」>「6.2.2 グループをまとめて追加」を参照

初期設定

ユーザー権限の設定



□ ユーザー管理ポリシー

初期設定では一般ユーザーにメールアドレスやパスワードの変更が許可されています。またユーザー選択時に無効ユーザーが表示されます。
これらの許可・表示を変更する場合はこのメニューから設定を変更できます。

□ グループ管理ポリシー

初期設定では一般ユーザーにもグループの作成が許可されています。
管理者だけがグループの作成・管理を行う運用にする場合はこのメニューから設定を変更できます。

□ フォルダー作成権限

初期設定ではすべてのユーザーがフォルダー作成権限を持っています。
特定のグループやユーザーだけにフォルダー作成権限を持たせる場合は、このメニューから権限を与えるグループ・ユーザーを指定することができます。
※管理者ユーザーは設定にかかわらずフォルダーを作成できます。

□ クイックアクションナビ

初期設定ではすべてのユーザーがアクションカテゴリー作成権限を持っています。
特定のグループやユーザーだけにアクションカテゴリー作成権限を持たせる場合は、このメニューから権限を与えるグループ・ユーザーを指定することができます。
※管理者ユーザーは、設定にかかわらずアクションカテゴリーを作成できます。

□ 決裁代理管理ポリシー

初期設定では、ユーザーは自分自身で決裁代理者を設定する権限を持っています。
管理者ユーザーのみが決裁代理を管理できるようにする場合は、このメニューから設定を変更できます。

□ 決裁ライン管理ポリシー

初期設定では、ユーザーは自分自身の決裁ラインを編集する権限を持っています。
管理者ユーザーのみが決裁ラインを管理できるようにする場合は、このメニューから設定を変更できます。

初期設定

ログインの設定

□ ログイン方法

「ユーザー・グループの管理」の「Active Directory連携」でご説明したADとの連携を行い、UnitBaseユーザーとしてADユーザーを登録している環境では、コンピュータにログオンしているADユーザーでそのままUnitBaseにログインすることができます（シングルサインオン/SSO）。
ログイン方法の設定は [ログイン] メニューから行います。

ログイン方法	
Active Directoryユーザーの ログイン方法:	☒ 自動的にログインする (SSOのみでログインする) ☐ フォームでログインする ☐ 「自動的にログイン」と「フォームでログイン」を併用する ※フォームによるログインを行うときは、Active Directoryパスワードが送信されます。

■ 自動的にログインする (SSOのみでログインする)

ADユーザーのログインはシングルサインオンのみで可能です。

ログインフォームにADユーザーのID・パスワードを入力してもログインはできません。

■ フォームでログインする

ログインフォームにADユーザーのID・パスワードを入力してログインします。
シングルサインオンはできません。

■ 「自動的にログイン」と「フォームでログイン」を併用する

シングルサインオンとログインフォームのどちらからでもADユーザーでのログインが可能です。

□ ログインしたままにする期間

UnitBaseのログイン画面で [ログインしたままにする] を有効にすると、ログアウトせずにWebブラウザを終了した場合、ここで設定した期間はログイン操作を省略してUnitBaseの利用を再開できます。

ログインしたままにする期間	
ログインしたままにする期間:	5 日 ※ 0 を設定すると、ログイン画面に【ログインしたままにする】を表示させないようにできます。

初期設定

パスワードポリシーの設定

□ パスワードポリシー

Unitbaseのログインに利用するパスワードのポリシーを細かく設定します。
社内のセキュリティポリシーに合わせた運用が可能になります。

UnitBase アクションナビ ホーム 個人設定・管理

パスワードポリシー

パスワードの最小文字数: 8 文字

☒ 詳細なパスワードポリシーおよびアカウントロックを有効にする

詳細なパスワードポリシー

パスワードの有効期間: 90 日 ☐ 無期限にする

パスワードの変更を勧める期間: 5 日

重複を禁止する回数: 5 回

パスワードの複雑さ: 制限なし

アカウントロック

アカウントがロックされるまでのログイン失敗回数: 10 回 ☐ アカウントをロックしない

アカウントのロックが自動的に解除されるまでの時間: 30 分 ☐ 無期限にする

ログイン失敗回数がリセットされるまでの時間: 30 分

保存

パスワードポリシー

パスワードの最小文字数を指定

パスワード有効期限などを設定

アカウントロックの設定

初期設定

データベースメンテナンスの設定

□ バックアップ・最適化

問題発生時にデータや設定情報を復旧できるよう、定期バックアップを設定しておくことを強く推奨しています。

また、UnitBaseの内部データを整理し効率よくデータベースを利用するため、定期的に最適化を実行します。

個人設定

- 個人情報・パスワード
- 決裁代理
- 決裁ライン

UnitBaseの管理

- ユーザー
- グループ
- グループ管理ポリシー
- フォルダー作成権限
- クイックアクションナビ
- 決裁代理の変更
- 決裁ラインの変更
- 決裁ライン管理ポリシー
- 役職

データベース メンテナンス

バックアップ・スケジュール

☒ バックアップ・スケジュールを有効にする

バックアップ先フォルダー: C:\UnitBase\backup

バックアップを実行する曜日: ☐ 日曜 ☒ 月曜 ☒ 火曜 ☒ 水曜 ☒ 木曜 ☒ 金曜 ☐ 土曜

バックアップを実行する時刻: 00:00

保持するバックアップの個数: 5 個

前回バックアップ実行日時: 前回設定なし

前回バックアップ実行結果: 前回実行なし

最適化・スケジュール

最適化を実行する曜日: ☒ 日曜 ☐ 月曜 ☐ 火曜 ☐ 水曜 ☐ 木曜 ☐ 金曜 ☐ 土曜

最適化を実行する時刻: 00:00

前回最適化実行日時: 2017年07月30日

前回最適化実行結果: 成功

検索設定

大文字・小文字を区別しない: ☐

保存

バックアップスケジュールを有効化し、バックアップ先フォルダーや実行曜日・時刻を設定

保存しておくバックアップの最大数も設定でき、古いものは自動削除される

[データベースメンテナンス]を開く

最適化の実行曜日・時刻を設定



- ✓ バックアップ実行時刻、最適化実行時刻には、深夜など利用頻度が少ない時間帯を指定してください
- ✓ 同一のWindowsドメイン内にある共有フォルダーをバックアップ先に指定することも可能です
※共有フォルダへのアクセス許可設定などが必要になります

初期設定

■ 定期バックアップ

設定したスケジュールに従ってバックアップが自動実行されます。
スケジュールには複数の曜日を指定でき、実行する時刻も指定できます。
実行時刻には深夜など利用頻度が少ない時間帯を指定してください。

バックアップしたデータは、次のような場合に運用環境を復元するのに使用します。

- ・ システム障害などにより、設定やデータを破損した
- ・ 過ってデータベースを削除したなど、データを過去の状態に戻したい

バックアップ対象となるのは以下のデータです。

- ・ すべてのデータベースデータ
- ・ 設定ファイル
- ・ バージョンファイル
- ・ Active Directory連携用設定ファイル

バックアップ先フォルダーには、UnitBaseのインストール場所とは別のドライブを指定することをお勧めします。可能であれば、ハードウェア故障などに備え物理的に別のハードディスクを指定されるとより安全です。

同じWindowsドメインのネットワーク上にある共有フォルダーをバックアップ先フォルダーに指定する場合は、共有フォルダーに対して、UnitBase をインストールしたサーバーコンピュータからのアクセスを許可する必要があります。

※設定方法の詳細は管理者ガイド [7.6. データのバックアップ] を参照ください。

定期バックアップの実行結果は [前回バックアップ実行日時] で確認できます。
バックアップが実行された日時と、「成功」「失敗」「前回実行なし」の実行結果が表示されます。「失敗」と表示されている場合はその右横に表示される [詳細] をクリックすることで実行結果の詳細情報を参照できます。

■ データベースの最適化

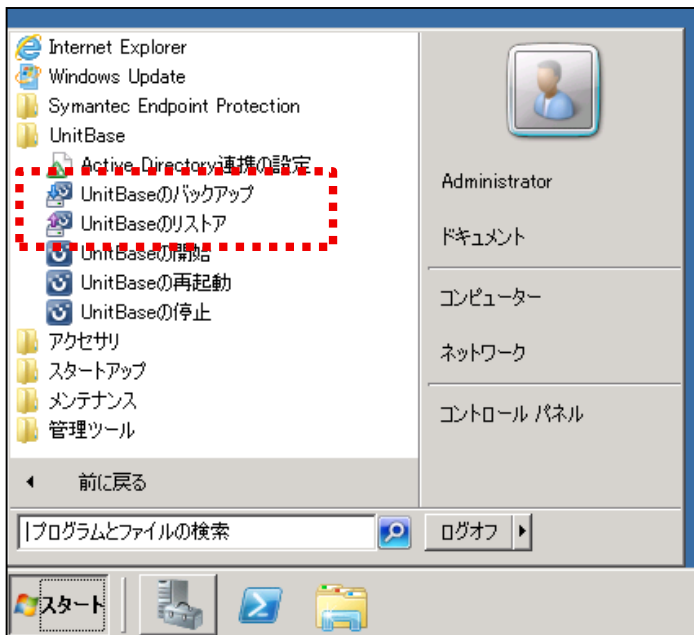
サーバー内に残った一時ファイルを削除したり、データを効率よく処理したりできるように定期的にデータベースを最適化するように設定します。
データベースの最適化は、ユーザーが使用していない時間帯に、週1回程度実行することをお勧めします。

データベース最適化の実行結果は [前回最適化実行日時] で確認できます。
最適化が実行された日時、「成功」「失敗」「前回実行なし」の実行結果が表示されます。「失敗」と表示されている場合はその右横に表示される [詳細] をクリックすることで実行結果の詳細情報を参照できます。

初期設定

補足：手動バックアップ／リストアの手順

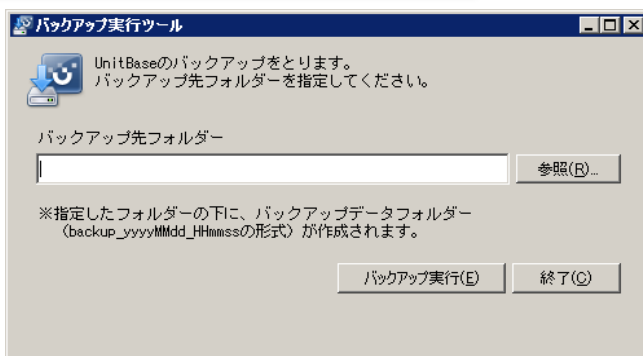
手動でのバックアップ即時実行、ならびにバックアップしたデータのリストアは、UnitBaseサーバー上にインストールされているツールを使って行います。



Windows スタートメニューの
[すべてのプログラム] > [UnitBase]
より、バックアップツールやリストア
ツールを起動します。

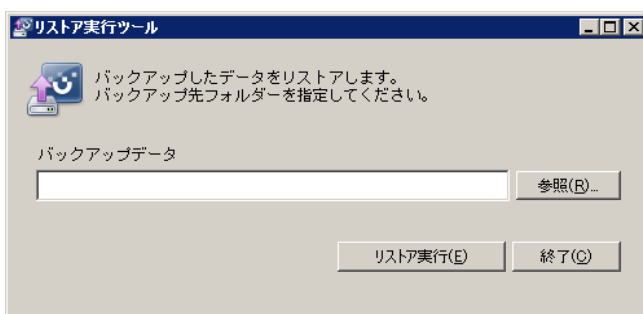
※Windowsのバージョン等によって画面は
異なります

バックアップ実行ツール



バックアップデータ出力先のフォルダー
を指定して [バックアップ実行] ボタン
をクリックすると、即時でバックアップ
を実行できます。

リストア実行ツール



バックアップデータが保存されている
フォルダーを指定して [リストア実行]
ボタンをクリックすると、バックアップ
データが復元されます。

初期設定

メール送信設定

□ メール通知を行うための設定

UnitBaseでメールによる通知を利用するためには、メール送信サーバーの設定が必要になります。

The screenshot shows the 'メール送信' (Email Sending) settings page in UnitBase. The left sidebar contains navigation links: 個人設定 (Personal Settings), 個人情報・パスワード (Personal Information/Password), 決裁代理 (Approval Proxy), 決裁ライン (Approval Line), UnitBaseの管理 (UnitBase Management), ユーザー (Users), グループ (Groups), グループ管理ポリシー (Group Management Policy), フォルダ作成権限 (Folder Creation Permissions), クイックアクションナビ (Quick Action Nav), 役割 (Roles), メール送信 (Email Sending), メール受信 (Email Receiving), ファイルフィールド (File Field), データベース メンテナンス (Database Maintenance), ログイン (Login), ログインユーザー (Login Users), ログファイル (Log Files), and データベース レコード数 (Database Record Count).

The main content area is titled 'メール送信' (Email Sending) and includes the following sections:

- メール送信を有効化** (Enable Email Sending): A checkbox labeled 'メール送信を有効にする' (Enable email sending) is checked.
- 送信者** (Sender): Fields for '名前' (Name) set to 'UnitBase 通知メール' and 'メールアドレス' (Email Address) set to 'ub_admin@example.co.jp'.
- システム管理通知の送信先** (Destination for System Management Notifications): A field for 'メールアドレス' (Email Address) set to 'ub_admin@example.co.jp'.
- SMTPサーバー設定** (SMTP Server Settings): Fields for 'ホスト名' (Host Name) set to 'smtp.example.co.jp', 'ポート番号' (Port Number) set to '25', and '接続保護' (Connection Protection) with '保護しない' (Do not protect) selected. A checkbox for 'SMTPサーバー認証を利用する' (Use SMTP server authentication) is checked. Fields for 'ユーザー名' (Username) set to 'ub_admin' and 'パスワード' (Password) are also present.
- メールサーバー送信テスト** (Email Server Sending Test): A '送信テスト' (Send Test) button.

Instructional callouts (blue boxes with red arrows) provide guidance:

- 'メール送信を有効化' points to the 'メール送信を有効にする' checkbox.
- 'メールの送信者 (From) の情報を設定' points to the '送信者' section.
- 'メール送信サーバーのホスト名などを設定' points to the 'SMTPサーバー設定' section.
- '最後に送信テストを実行し問題なく送信できることを確認' points to the '送信テスト' button.
- '[メール送信] を開く' points to the 'メール送信' link in the sidebar.

A '保存' (Save) button is located at the bottom of the page.

初期設定

メール受信設定

□ メールによるレコード登録・更新を行うための設定

UnitBaseでメールによるレコード登録・更新を利用するためには、メール受信サーバーの設定が必要になります。

The screenshot shows the 'メール受信' (Mail Reception) settings page in UnitBase. The left sidebar contains navigation links: 個人情報・パスワード, 決裁代理, 決裁ライン, UnitBaseの管理, ユーザー, グループ, グループ管理ポリシー, フォルダー作成権限, クイックアクションナビ, 決裁代理の変更. The main content area is titled 'メール受信' and includes sections for 'メール受信を有効化', 'メール受信サーバー設定', 'メール取込通知設定', and 'メールサーバー通信テスト'. Annotations in blue boxes point to specific settings: '[メール受信] を開く' points to the 'メール受信' link in the sidebar; 'メール受信を有効化' points to the 'メール受信を有効にする' checkbox; 'メール受信サーバーのホスト名などを設定' points to the 'サーバーの種類', 'ホスト名', 'ポート番号', and '接続保護' fields; 'メール取込成功時／失敗時の通知先を設定' points to the 'メール取込通知設定' section; and '最後に通信テストを実行' points to the '通信テスト' button.

メール受信

☒ メール受信を有効にする
指定したアカウントのメールはすべて削除されます。重要なデータを扱う場合は、事前にバックアップを必ず行ってください。

メール受信サーバー設定

サーバーの種類: ☒ POP3 ☐ IMAP4
 ホスト名:
 ポート番号:
 接続保護: ☒ 保護しない ☐ STARTTLS ☐ SSL

アカウント設定

受信メールアドレス:
 ユーザー名:
 パスワード:

メール取込通知設定

☐ 取込成功時に送信者に通知する
☐ 取込成功時に次のメールアドレスに通知する
 メールアドレス:
☒ 取込失敗時に送信者に通知する
☐ 取込失敗時に次のメールアドレスに通知する
 メールアドレス:
※複数指定する場合は、カンマ(,)で区切ります (5つまで)

メールサーバー通信テスト

※上記の値でメール受信を試みます。



- ✓ 受信メールアドレスとして設定されたメールアドレス宛のメールは、取込の成功・失敗にかかわらず、受信サーバーから消去されます。そのため、必ずメール受信機能に専用のメールアドレスを用意してください。

初期設定

アクセスログの記録

ユーザーの利用状況や操作内容を後から確認できるようにする場合は、アクセスログの記録を有効にします。

個人設定

- 個人情報・パスワード
- 決裁代理
- 決裁ライン

UnitBaseの管理

- ユーザー
- グループ
- グループ管理ポリシー
- フォルダー作成権限
- クイックアクションナビ
- 決裁代理の変更
- 決裁ラインの変更
- 決裁ライン管理ポリシー
- 役職
- メール送信
- メール受信
- ファイルフィールド

ログファイル

ログファイル管理

ログの出力レベル: 通常

ログの保存日数: 30 日間

アクセスログ管理

☒ アクセスログを有効にする

ログの保存日数: 30 日間

保存

[アクセスログを有効にする] にチェックを入れる

[ログファイル] を開く

ログインユーザー

ログファイル

データベースレコード数

メンテナンスモード

※データベースの設定によって詳細なレコード操作内容をログ出力することができます。
詳細は後の章でご説明します。

※アクセスログに出力される内容の詳細は下記のマニュアルを参照してください。
「管理者ガイド」>「付録7. アクセスログの内容」

メンテナンスモード

メンテナンスモードに切り替える

UnitBaseのアップデート作業や、データベースの構成変更、業務時間内の手動バックアップ実行など、一般ユーザーの作業を抑制したい場合は、メンテナンスモードを有効にすることで対応します。

メンテナンスモードを有効にすると、一般ユーザーのログインは禁止され、またログイン中の一般ユーザーは強制的にログアウトされ実行中だった処理はキャンセルされます。

個人設定

- 個人情報・パスワード
- 決裁代理
- 決裁ライン

UnitBaseの管理

- ユーザー
- グループ
- グループ管理ポリシー
- フォルダー作成権限
- クイックアクションナビ
- 決裁代理の変更
- 決裁ラインの変更
- 決裁ライン管理ポリシー
- 役職
- メール送信
- メール受信
- ファイルフィールド
- データベース メンテナンス
- ログイン

メンテナンスモード

メンテナンスモードが無効です

次のボタンをクリックして、メンテナンスモードを有効にしてください。

有効にする

[有効にする] ボタンをクリックするとメンテナンスモードが有効になる

[メンテナンスモード] を開く

データベースレコード数

メンテナンスモード

ライセンス

環境のチューニング

セキュリティソフトの設定変更

UnitBaseの動作速度を向上させるためには、アンチウィルスソフトやファイアウォールなどのセキュリティソフトによる監視や制限の対象から、UnitBaseを除外する必要があります。

UnitBaseサーバーにセキュリティソフトがインストールされている場合は、お使いのソフトウェアのマニュアル等を参照し、UnitBaseのプロセスやフォルダー、ポートなどをリアルタイム監視やスキャンの対象から除外します。

□ スキャンや監視の対象から除外するプロセス

次のプロセスを、スキャンや監視の対象から除外します。

- java.exe
- tomcat8.exe
- pg_ctl.exe
- postgres.exe
- unitbase_dataexport.exe
- unitbase_dataimport.exe
- unitbase_userexport.exe
- unitbase_userimport.exe
- unitbase_groupexport.exe
- unitbase_groupimport.exe
- unitbase_lineexport.exe
- unitbase_lineimport.exe

□ スキャンや監視の対象から除外するフォルダー

次のフォルダー配下にあるフォルダーおよびファイルを、スキャンや監視の対象から除外します。

- UnitBaseのインストール先フォルダー
- PostgreSQLのデータフォルダー
(※データ保存先フォルダーをUnitBaseインストール先フォルダー以下から変更した場合のみ)
- ファイルフィールドの「保存先ルートフォルダー」として指定しているフォルダー
(※ファイルフィールドのストレージ保存を有効にしている場合のみ)

□ アクセスを許可するポート

次のTCPポートへのアクセスを許可します。

- 80 UnitBaseのWebサーバーが利用します(※)
- 25432 UnitBaseのデータベースサーバーが利用します

※Webサーバーが利用するポート番号を変更した場合は、変更後のポート番号へのアクセスを許可します。

その他さまざまな設定

ご利用の環境や目的に合わせたさまざまな設定

UnitBaseには、ここまでにご説明してきた設定以外にも、ご利用環境に合わせたさまざまな設定項目があります。詳細は各種マニュアル・ヘルプをご参照ください。

ここでは「管理者ガイド」の「8. 利用環境に合わせた設定」から、この資料では取り上げていない主なトピックの見出しをご紹介します。

- メモリ増設後の作業
UnitBaseをインストールしたサーバーのメモリを増設した場合に、UnitBaseで利用できるメモリサイズや扱えるデータ数の変更を行う際の手順をご説明しています。
- ホーム画面「お知らせページ」のカスタマイズ
ホーム画面の画面右側に表示する情報をカスタマイズできます。
- 通知メール本文に記載するURLのホスト名の変更
通知メールの本文に記載されるUnitBaseのURLのホスト名部分を変更できます。
- セッションに関する設定の変更
セッションタイムアウト時間、ユーザーごとのセッション数、セッションの生存時間を変更できます。
- データ保存先フォルダーの変更
UnitBaseのデータ保存先フォルダーを変更する手順をご説明しています。
- データ保存先のストレージ種類の設定
データ保存先ストレージにSSDを利用している場合は、HDDの場合と比較して、作成可能な総レコード数の上限が大きくなります。その設定変更手順をご説明しています。
- レコードに添付したファイルの保存先フォルダーの変更
ファイルフィールドのファイル保存先フォルダーの変更手順をご説明しています。
- ユーザー指定休日の設定
日付選択パネルやデータベースのカレンダー表示で表示する独自の休日を設定できます。
- ユーザー指定就業日の設定
日付選択パネルやデータベースのカレンダー表示で表示する独自の就業日を設定できます。
- グループ数の上限の変更
作成できるグループ数の上限を設定できます。
- データベーステンプレート保存数の上限の変更
1つのデータベーステンプレートに保存できるデータベース数の上限を変更できます。
- 検索対象とするフィールドの設定
データベース閲覧画面の左上の検索窓から検索した際に、使用中のレイアウトに表示されていないフィールドも検索対象に含めることができます。
- [レコードコピー設定] ダイアログボックスの操作形式の変更
[レコードコピー設定] ダイアログボックスでユーザーを選択するときの操作方法を、ボタンで操作する形式とメニューで操作する形式から選択できます。

その他さまざまな設定

ご利用の環境や目的に合わせたさまざまな設定（続き）

- ユーザー情報アイコンの表示設定の変更
ユーザーフィールドや [ユーザー選択] ダイアログボックスなどで、ユーザー名やログインIDを表示する青丸囲みの「i」のアイコンを非表示にすることができます。
- 和暦表示時の新元号の設定
元号が変更された場合に、和暦表示で使用する新しい元号を追加できます。
- レコードの排他制御の設定
同じレコードに対する編集を行おうとした場合に、排他制御を行う設定を有効にできます。
- 1ユーザーが同時に開くことができる [レコードの編集] ダイアログボックス数の設定
1ユーザーが同じレコードに対して「レコード編集」ダイアログボックスをいくつ開くことが可能かを設定できます。
- [レコードの編集] ダイアログボックスでEnter キーを押下した場合の動作の変更
[レコードの編集] ダイアログボックスでEnterキーを押した場合の動作を変更できます。エンターキーを押しても何も行わない設定も可能です。
- カレンダーのラベルの設定
カレンダーのラベルを折り返し表示する場合の最大文字数を設定できます。
- 時刻入力を形式をドロップダウン形式に変更する
日付時刻フィールドやデータベースメンテナンスのバックアップ時刻などの時刻入力形式をドロップダウン形式に変更できます。
- ログイン画面やエラー画面に任意のURL を設定する
ログイン画面や「ログインしてください」などUnitBase のエラー画面上に任意のURLを設定できます。
- シングルサインオンヘッダー認証の設定
UnitBase へのHTTP リクエストヘッダーにUnitBase のログインID が設定されている場合に、そのログインID でUnitBase にログインする機能の設定です。
- レコードURL を開いたときにレコード一覧の高さを1 行分にする設定
通知メールの本文などに含まれるレコードURL を開いたときにレコード一覧の高さをレコード1 行分に設定できます。
- 1 ユーザーあたりの決裁ライン数の変更
一人のユーザーが設定できる決裁ラインの最大数を変更できます。
- データベースを移動してもURL が変わらないようにする設定
データベースやデータベースの要素（フィルターやレコードなど）のURL はデータベースを移動すると変更されるため、データベース移動前のURL でアクセスすることができなくなります。データベースを移動してもURL を変更しないように設定できます。

その他さまざまな設定

ご利用の環境や目的に合わせたさまざまな設定（続き）

- フォルダ所有者の権限の変更
フォルダの所有者はフォルダ配下のデータベースの所有者権限を持ちますが、データベースについては所有者権限を持たないように変更できます。
- ルックアップキーのレイアウト選択必須化
ルックアップキーの設定時にレイアウトの選択を必須に設定できます。
- 見出しフィールドのリッチテキストの文字数上限の変更
見出しフィールドの説明にリッチテキストを利用する場合の説明文の文字数上限を変更できます。
- メール送信時の同時接続数の設定
UnitBase の通知メール送信時は、初期状態で最大5 スレッド同時に接続して送信メールサーバーに接続を行いますが、送信メールサーバーで同時接続数が制限されているとメールが送信されないなどの問題が発生する場合があります。その場合は、同時接続数を変更できます。
- 差分更新基準日時のマージンの設定
外部データ連携のRDBの取り込みでは、差分更新基準日時以後のカラムを取り込み対象として処理できますが、RDB に記録される値の誤差などのため差分更新基準日時の処理にマージンが必要な場合はマージンを設定できます。